

# ウォーターサーバーの日々のお手入れ

いつもウォーターネットをご愛飲いただきましてありがとうございます。

ウォーターサーバーを永く衛生的にお使いいただくためにも、お客様による日々のメンテナンスをお願いしています。

メンテナンス時にご用意いただきたい備品とメンテナンスの方法をご案内致します。

## 【ご用意いただきたい備品】

①台所用  
アルコール  
除菌剤

②キッチン  
ペーパー

③アルコール  
除菌タオル  
※①②の代わり

④食器洗い用  
中性洗剤

⑤スポンジ

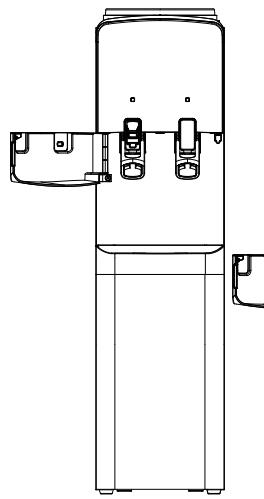
⑥ホコリ取り  
モップ

⑦掃除機



## 【各部の名称】

### [正面]



◆温水ランプ HOT S/WをONになると点灯し、HOTモードで赤色、ECOモードで緑色になります。

◆冷水ランプ 電源プラグを挿すと青色に点灯します。

◆温水コック チャイルドロック機能付き。

◆冷水コック

◆水受皿

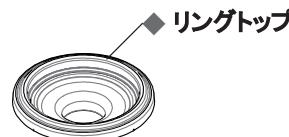
コックから出た水が漏れた場合の受け皿(取り外し可能)

◆カバークリップ

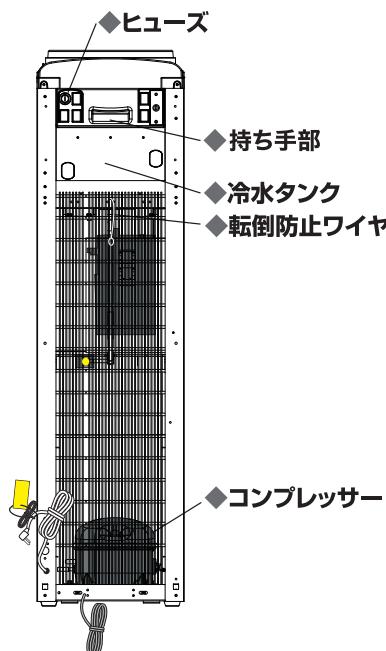
◆下ヒンジ

◆クリーンカバー 取り外してご使用いただけます。

### [上面]



### [背面]



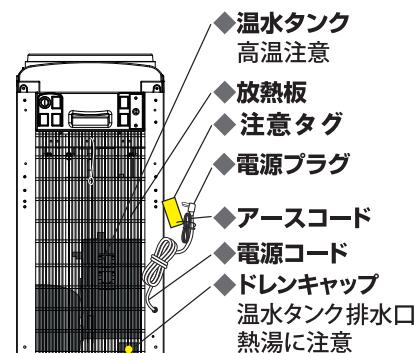
◆ヒューズ

◆持ち手部

◆冷水タンク

◆転倒防止ワイヤ

◆コンプレッサー



◆温水タンク 高温注意

◆放熱板

◆注意タグ

◆電源プラグ

◆アースコード

◆電源コード

◆ドレンキャップ 温水タンク排水口

熱湯に注意



◆ウォーターガード

◆ボトル差込口

◆ノンスピルピン

ボトルからサーバーに水を入れる部分

◆HOT S/W (ホットスイッチ)(赤) 温水のON/OFFスイッチ

◆温水ECO スイッチ(黒)

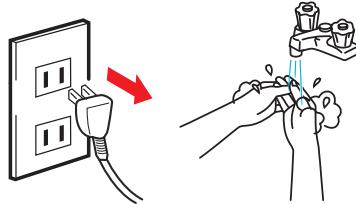
## 【日々のお手入れ】

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さまご自身によるお手入れです。

### 1) 普段のお手入れ



お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いて、手を洗ってください。  
濡れた手でお手入れはしないでください。  
お手入れには台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。



電源プラグを抜いてください。

手を洗ってください。

#### ① 頻繁に行っていただくお手入れ

##### a. ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)

- リングトップとボトルガイドを外してお手入れしてください。
- ボトル差込口に水がたまっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
- 水がたまつたままボトルをセットすると、水が飛散したり思わぬ場所から漏れ出す恐れがあります。
- ボトル差込口に水がたまつたら水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。



水がたまっている。  
汚れが付着している。

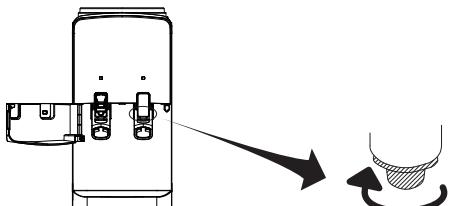
キッチンペーパー

しっかりと吹きつけて

台所用アルコール除菌剤

##### b. 冷・温水コック(1週間ごと)

ペットを室内で飼っている場合、  
人の出入りが多い場所に設置している場合は、  
特にお手入れを頻繁に行ってください。



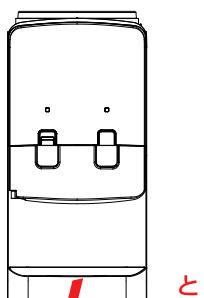
コックの出水口は外して洗うことができます。



温水コックは熱くなっていますことがあります。火傷に注意してください。

##### c. 水受皿(1週間ごと)

食器洗い用中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。



と

水受皿は手前に引っ張る  
取り外しできます

#### ② 定期的に行っていただくお手入れ

##### a. 本体外面(1か月ごと)

清潔なタオル等で乾拭きしてください。  
汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。  
クリーンカバー内部も同様にお手入れください。

##### b. 背面部分(放熱板)(1か月ごと)

ウォーターサーバーの背面は放熱部となっています。  
ホコリが付着すると冷却能力が低下します。  
やわらかいブラシ(ホコリ取りモップ)や掃除機等で掃除してください。

##### c. 電源プラグ(1か月ごと)

電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象がおこり、発煙発火することがあります。  
掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。

全体を拭き取ります

